

温暖化対策について

従来：緩和策（CO2排出削減策 等）

【埼玉県の対策】（ストップ温暖化・埼玉ナビ）
 ・産業部門：排出量取引制度の創設 等
 ・運輸部門：CO2排出削減計画の作成 等
 ・家庭部門：住宅用太陽光発電の拡大 等

しかし！

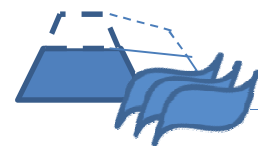
【IPCC（研究者集団）報告書】
 全世界で最も厳しい緩和策をとっても
 数十年間は温暖化が進行する
 ⇒異常気象が頻発、極端に！

【台風巨大化、ゲリラ豪雨】【夏の高温】



温暖化とどう付き合うか！ ＝適応策

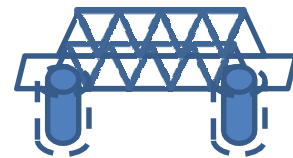
【堤防強化】
・水害対策 等



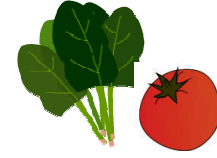
【救急搬送体制強化】
・熱中症、光化学
オキシダント対策



【交通インフラ強化】
・道路・橋梁 等



【品種改良、新種普及】
・高温被害 等



今後：緩和策＋適応策

温暖化対策の庁内推進体制

地球温暖化対策
推進委員会
（議長：副知事、
委員：各部長）

地球温暖化対策
推進委員会幹事会
（幹事長：環境部副部
長、
幹事：各主管課長）

大規模事業所等専門部会ほか
（部会長：温対課長、部会員：関係課長）

適応策専門部会
（部会長：温対課長、部会員：関係課長）

適応策専門部会作業部会
（専門部会員：専門部会所属の各課職員）

作業部会各課の適応策

- ・安全な暮らし
治山施設の整備
山間部の県管理道路の通行規制
多量な降雨でも氾濫しない河川整備の推進
- ・健康な暮らし
熱中症予防対策
光化学オキシダント対策
- ・経済的に豊かな暮らし
高温障害軽減栽培技術の開発、高温に強い品種の育成
- ・快適な暮らし
野生生物の保護

温暖化の適応策に係る研究

- 温暖化影響・適応策のモデルスタディ
「簡易予測ツール」（国立環境研究所）
気候変動の影響に係る予測データを提供する
ツールを活用したモデルスタディ

ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050 （埼玉県地球温暖化対策実行計画）



- 計画期間
2009～20年度（12年間）
- ※ 2014年度見直し予定
（早まる可能性あり）

- 削減目標
2020年の
温室効果ガス排出量を
2005年比 25%削減する

温暖化の適応策の検討スケジュール（予定）

2月～
今年度末

作業部会を開催し、既に各課が実施してい
る事業を適応策の視点から整理

5月

主管課を含めて庁内全体で適応策に関す
る会議を開催（普及啓発用）

5月～
9月下旬

作業部会で新たな適応策を検討
（部会開催は2～3回程度）

10月上旬

専門部会で新たな適応策（案）を了承

10月上旬
以降

必要に応じて作業部会を開催し、更に新た
な適応策を順次検討

活用

反映